



## 2024年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月5日

上場会社名 サンネクスタグループ株式会社  
コード番号 8945 URL <https://www.sunnexta.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 章  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務グループ長 (氏名) 吉田 勇  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 2024年3月5日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-5229-8839

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	4,043	1.4	279	17.9	283	17.1	196	13.9
2023年6月期第2四半期	3,986	5.5	340	1.5	342	4.1	228	84.6

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 640百万円 (103.9%) 2023年6月期第2四半期 314百万円 (81.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	21.54	20.89
2023年6月期第2四半期	25.11	24.29

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	10,466	7,937	74.2
2023年6月期	10,072	7,436	72.3

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 7,768百万円 2023年6月期 7,284百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		18.00		19.00	37.00
2024年6月期		19.00			
2024年6月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	9.0	670	22.6	700	22.6	480	1.3	52.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期2Q	10,767,100 株	2023年6月期	10,749,700 株
期末自己株式数	2024年6月期2Q	1,632,636 株	2023年6月期	1,632,636 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期2Q	9,125,764 株	2023年6月期2Q	9,089,314 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ<sup>1)</sup>(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに起因する行動制限の緩和により、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、不安定な国際情勢を背景に資源価格や原材料価格の高騰や円安基調が続いており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境においては、少子高齢化の進行や働き方の多様化の拡大により人手不足が深刻化しており、アウトソーシングの導入を検討する企業が増加しております。また、マンション管理市場においては、新築分譲マンションの供給戸数の先細りが見込まれるものの、マンションストック数は年々増加しており、経年劣化に伴う共用部の修繕工事も増加傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き、2025年6月期を最終年度とする中期経営計画「NEXT STANDARD 2025」を推進しており、2024年6月期においては、受注環境が回復基調にある中、新たなサービスを加えたストックの積み上げによる事業拡大と業務効率化による生産性向上で、アウトソーシング領域の拡大とオペレーションの変革をさらに推し進めております。また、今後のアウトソーシング業務のさらなる安定稼働に向けた人的資本への投資にも積極的に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下のとおりであります。

売上高はインボイス制度の導入に伴う対応支援などの手数料収入が増加したことから、40億43百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

利益面においては、売上高の増加はありましたが、第2四半期において人材の定着・育成・働きやすさ向上を目的に事業所移転を実施したことから経費が増加し、営業利益は2億79百万円（同17.9%減）、経常利益は2億83百万円（同17.1%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益79百万円を特別利益に計上した一方で、子会社における固定資産の減損損失55百万円を特別損失に計上したこと等により、1億96百万円（同13.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①社宅マネジメント事業

社宅マネジメント事業においては、企業における住宅制度・運用の見直しや高い外部委託ニーズを背景に大手企業を中心に制度改定コンサルテーションの引き合いが増加し、中堅企業に対しては新たな専用サービスの提供により、受注数が着実に増加しています。また、人事・総務向けBPOサービスが順調に拡大したことに加え、インボイス制度への対応支援としてのスポット収入が増加したことから、売上高は20億59百万円（前年同期比8.0%増）となりました。一方、利益面では、今後のアウトソーシング業務の安定稼働に向けた事業所移転に伴う費用が発生したこと等から、営業利益は5億97百万円（同1.1%増）となりました。

#### ②マンションマネジメント事業

マンションマネジメント事業においては、マンション管理の新規受託における引き合いは引き続き堅調であり、管理戸数は増加しております。また、修繕工事や専有部向け商品の販売が増加した一方、不動産の買取再販取引においては仕入物件のリフォーム完成時期が下期以降になるものが多く、上期における売上の成約件数が減少したことから、売上高は18億8百万円（前年同期比3.2%減）となりました。利益面では、管理委託料の値上げに対し外注原価の増加が先行していることや管理員等の欠員を派遣社員等で補ったことも影響し、営業利益は78百万円（同33.1%減）となりました。

#### ③インキュベーション事業

インキュベーション事業においては、複数のサービスが堅調に推移してきましたが、当第2四半期において24時間対応のコールセンターサービスで既存顧客の解約が発生したことから、売上高は1億76百万円（前年同期比16.8%減）、営業利益は4百万円（同70.8%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億94百万円増加し、104億66百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億33百万円減少し、72億27百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加2億33百万円、営業立替金の減少3億24百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6億28百万円増加し、32億39百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加6億2百万円によるものであります。

### （負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億6百万円減少し、25億29百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億88百万円減少し、17億57百万円となりました。これは主に営業預り金の減少2億78百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億81百万円増加し、7億72百万円となりました。これは主に繰延税金負債の増加1億73百万円によるものであります。

### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5億1百万円増加し、79億37百万円となりました。これは主に保有株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加4億43百万円によるものであります。

### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より2億33百万円増加し、49億71百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により増加した資金は5億19百万円（前年同期は4億45百万円の資金の減少）となりました。これは主に法人税等の還付額4億4百万円、営業立替金の減少による増加3億24百万円、税金等調整前四半期純利益3億9百万円及び営業預り金の減少2億78百万円などによるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により減少した資金は1億12百万円（前年同期は38百万円の資金の減少）となりました。これは主に固定資産取得による減少1億15百万円によるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により減少した資金は1億74百万円（前年同期は1億54百万円の資金の減少）となりました。これは主に配当金の支払による支出1億72百万円によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期連結業績予想につきましては、2023年8月10日付「2023年6月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,762,731	4,995,837
売掛金及び契約資産	386,253	291,645
営業立替金	1,367,897	1,043,334
商品	1,953	1,924
販売用不動産	199,406	294,114
仕掛品	4,422	15,645
貯蔵品	10,319	11,474
その他	732,538	576,377
貸倒引当金	△3,823	△2,606
流動資産合計	7,461,698	7,227,748
固定資産		
有形固定資産	206,798	287,947
無形固定資産	418,624	355,691
投資その他の資産		
投資有価証券	1,645,527	2,247,539
その他	339,601	347,907
貸倒引当金	△23	△81
投資その他の資産合計	1,985,105	2,595,365
固定資産合計	2,610,527	3,239,004
資産合計	10,072,226	10,466,752
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	180,777	153,248
未払法人税等	142,139	152,074
営業預り金	796,469	518,343
賞与引当金	53,958	46,120
役員賞与引当金	9,346	5,600
株主優待引当金	7,348	—
その他	855,730	881,814
流動負債合計	2,045,770	1,757,200
固定負債		
退職給付に係る負債	187,240	181,580
繰延税金負債	403,009	576,201
その他	—	14,343
固定負債合計	590,249	772,124
負債合計	2,636,020	2,529,325
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	988,033	996,454
資本剰余金	742,983	751,404
利益剰余金	5,739,269	5,762,638
自己株式	△1,187,197	△1,187,197
株主資本合計	6,283,089	6,323,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,000,932	1,444,743
その他の包括利益累計額合計	1,000,932	1,444,743
新株予約権	152,184	169,383
純資産合計	7,436,206	7,937,427
負債純資産合計	10,072,226	10,466,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,986,356	4,043,745
売上原価	3,025,123	3,108,990
売上総利益	961,232	934,754
販売費及び一般管理費	620,263	654,837
営業利益	340,969	279,916
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,263	760
受取手数料	331	262
還付加算金	—	1,584
補助金収入	864	1,784
受取保険金	822	—
その他	287	275
営業外収益合計	3,569	4,666
営業外費用		
支払補償費	1,332	586
その他	782	212
営業外費用合計	2,115	799
経常利益	342,423	283,783
特別利益		
固定資産売却益	—	441
投資有価証券売却益	—	79,331
新株予約権戻入益	3,275	11,085
特別利益合計	3,275	90,858
特別損失		
固定資産除却損	27	6,383
減損損失	—	55,013
事務所移転費用	—	4,025
特別損失合計	27	65,422
税金等調整前四半期純利益	345,672	309,219
法人税等	117,397	112,626
四半期純利益	228,274	196,592
親会社株主に帰属する四半期純利益	228,274	196,592

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	228,274	196,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,750	443,810
その他の包括利益合計	85,750	443,810
四半期包括利益	314,025	640,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314,025	640,403
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	345,672	309,219
減価償却費	21,468	34,945
減損損失	—	55,013
新株予約権戻入益	△3,275	△11,085
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△587	△1,217
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,507	△7,838
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,886	△3,746
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,968	△5,660
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△8,055	△7,348
株式報酬費用	33,958	36,291
受取利息及び受取配当金	△1,263	△760
支払利息	34	10
固定資産除却損	27	6,383
固定資産売却益	—	△441
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△79,331
売上債権の増減額 (△は増加)	38,909	94,607
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,061	△27,529
営業立替金の増減額 (△は増加)	139,984	324,562
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△35,748	△107,058
前受金の増減額 (△は減少)	60	—
契約負債の増減額 (△は減少)	31,572	823
営業預り金の増減額 (△は減少)	△115,225	△278,126
その他	△112,236	20,027
小計	304,871	351,743
利息及び配当金の受取額	1,263	760
利息の支払額	△34	△10
法人税等の支払額	△751,535	△237,478
法人税等の還付額	—	404,318
営業活動によるキャッシュ・フロー	△445,434	519,331
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△26,718	△104,065
無形固定資産の取得による支出	△57,246	△11,929
有形固定資産の売却による収入	—	3,833
投資有価証券の取得による支出	△4,913	—
投資有価証券の償還による収入	50,000	—
貸付金の回収による収入	255	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,622	△112,161
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△1,288	△1,300
株式の発行による収入	9,308	—
配当金の支払額	△162,719	△172,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,698	△174,063
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△638,756	233,106
現金及び現金同等物の期首残高	5,609,886	4,738,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,971,130	4,971,555

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	社宅マネ ジメント 事業	マンショ ンマネジ メント事 業	インキュ ベーショ ン事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,905,828	1,868,908	211,620	3,986,356	—	3,986,356
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	215	3,066	38,831	42,113	△42,113	—
計	1,906,043	1,871,974	250,451	4,028,469	△42,113	3,986,356
セグメント利益	591,308	116,745	16,376	724,429	△383,460	340,969

(注) 1. セグメント利益の調整額△383,460千円は、セグメント間取引消去9,167千円、各報告セグメントに  
配分していない全社費用△392,627千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない  
持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	社宅マネ ジメント 事業	マンショ ンマネジ メント事 業	インキュ ベーショ ン事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,059,162	1,808,513	176,069	4,043,745	—	4,043,745
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	204	2,964	33,448	36,618	△36,618	—
計	2,059,366	1,811,478	209,518	4,080,363	△36,618	4,043,745
セグメント利益	597,904	78,105	4,777	680,786	△400,869	279,916

(注) 1. セグメント利益の調整額△400,869千円は、セグメント間取引消去10,218千円、各報告セグメントに  
配分していない全社費用△411,088千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない  
持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「インキュベーション事業」セグメントにおいて、有形固定資産及び無形固定資産の減損損失を計  
上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において55,013千円であります。